



2019年11月1日

アウディ ジャパン株式会社
プレスサイト <http://www.audi-press.jp/>

お客様問い合わせ 0120 - 598 - 106
アウディ コミュニケーションセンター

新型 Audi A1 Sportback を発売

- 95 mm長くなったホイールベースにより、上位セグメントに迫る居住空間、65 ℓ 拡大した荷室を実現
- 上級モデル譲りのインフォテインメントシステムや先進運転支援システムを用意
- 新開発の 1.5ℓ エンジンは、最高出力 150PS を発揮、全車に 7 速 S トロニックを採用

アウディ ジャパン株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：フィリップ ノアック）は、8年ぶりに 2 代目へとフルモデルチェンジしたプレミアム コンパクトハッチバック 新型 Audi A1 Sportback 35 TFSI を、11 月 25 日（月）より全国のアウディ正規ディーラー（126 店舗、現時点）を通じて発売いたします。

新型 Audi A1 Sportback は、その拡大した居住空間や先進技術の採用などにより、一つ上のセグメントの顧客にも十分訴求することができる、アウディ最新のプレミアム コンパクトハッチバックモデルです。2011 年初代 A1 の日本市場での発表以来、全長約 4m のコンパクトなボディに、アウディの先進的で力強いデザイン、機敏な運動性能、高い品質など、アウディラインアップに共通する魅力を凝縮したモデルとして人気を博しています。

新型モデルは、従来比 95 mm 長くなったホイールベースにより、上位セグメントに迫る居住空間を実現、荷室は 65 ℓ 拡大しています。ボディ骨格に熱間成形スチール製のコンポーネントを採用し、剛性の高いボディと高い組み立て精度により、スポーティなドライブフィールを実現するとともに、車内における静粛性も高めています。

運転支援システムも上級モデル譲りの内容です。たとえ霧などで視界が悪くても、レーダーセンサーで前方を走るクルマや道路を横断する歩行者など、危険な状況を検知し、警告また必要に応じて緊急自動ブレーキを作動するアウディプレセンスフロントを全車標準装備します。また、オプションのアウディプレセンスベーシックを搭載すれば、万一の際、フロントシートベルトを締め上げ、ウィンドウを自動的に閉じ、ハザードライトを点滅するなど、フルブレーキや衝突に備えて衝撃を緩和します。これ以外にもアダプティブクルーズコントロールやアクティブブレーンアシスト、ハイビームアシストも用意しています。

新型 Audi A1 Sportback のエクステリアは、幅広く、低い位置にあるシングルフレームグリルと、パワフルなエンジンをイメージさせるサイドエアインレットが、デザインのハイライトになっています。また、ボンネット先端に設けた 3 分割スリットや、ワイドな C ピラーも効果的なアクセントです。これは 1984 年に登場してラリー界を席巻した、Audi Sport quattro へのオマージュであり、ワイドなトレッドと短いオーバーハングにより、スポーティで躍動感あふれる外観となっています。またアウディらしさを演出する、ヘッドライトのロービームやハイビームに加えて、ポジションライトやターンインジケーター、リヤコンビネーションライトなどすべてに LED を採用しています（今回発売の Audi A1 Sportback 35 TFSI）。

一方インテリアは、「コンパクトクラスで最もスポーティなインテリア」を目標としてデザインされました。インストルメントパネルを運転席側へとわずかに傾斜した、コックピットという言葉がふさわしいドライバーオリエンテッドな空間を生み出しています。高解像度の 10.25 インチのフル液晶ディスプレイ式のデジタルインストルメントクラスターをはじめ、オプションの 10.1 インチのタッチスクリーンを備えた MMI ナビゲーションシステムや多機能のアウディバーチャルコックピットを装着すれば、よりスポーティなイメージを高めます。スマートフォン世代に不可欠な USB 充電ポートは標準装備となり、Apple CarPlay や Android Auto が利用可能となる、アウディスマートフォンインターフェイスや、ワイヤレスチャージングもオプション設定。また、11 個のスピーカーにより高音質を実現する Bang & Olufsen 3D サラウンドシステムも、Audi A1 として初めてオプション設定致しました。

エンジンは、25 TFSI (1.0ℓ)と新開発の 35 TFSI (1.5ℓ)の 2 種類を設定。1.5ℓ TFSI は従来の 1.4ℓ TFSI に代わる新開発のエンジンです。このエンジンは、高圧の直噴システムの採用などにより最高出力 110kW(150ps)、最大トルク 250Nm を発揮する一方で、気筒休止システム シリンダーオンデマンド (COD) によって効率の良さも追求しています。トランスミッションは全車 7 速 S トロニックを採用します。なお、1.0ℓ 直列 3 気筒エンジンを搭載する、Audi A1 Sportback 25 TFSI の日本への導入は、2020 年 第 2 四半期を予定しています。

新型 Audi A1 Sportback は、アウディとして初めてのティオマングリーン及びパイソンイエローメタリックをはじめとする 10 色のカラーバリエーションを用意。また、ルーフカラーは、ボディ同色またはミトスブラックメタリックのコントラストルーフもオプションで選択することができます。

車両本体価格

| モデル | エンジン | トランスミッション | 駆動方式 | ステアリング | 車両本体価格 (税込) |
|---|--|---------------|------|--------|-------------|
| Audi A1 Sportback 35 TFSI advanced | 1.5ℓ直列4気筒 DOHC ターボチャージャー 150PS/250Nm | 7速 S トロニック | 前輪駆動 | 右 | 3,650,000 円 |
| Audi A1 Sportback 35 TFSI S line | 1.5ℓ直列4気筒 DOHC ターボチャージャー 150PS/250Nm | 7速 S トロニック | 前輪駆動 | 右 | 3,910,000 円 |